

「今、事業所に求められる メンタルヘルス対策とは」

～4つのケアから考えてみましょう～

◆講師：尼子 尚造先生

(兵庫産業保健総合支援センター・メンタルヘルス対策促進員)

◆日時：2019年6月16日(日) 14:00～17:15

◆場所：NLCセントラルビル3階大会議室

大阪市淀川区西中島4-3-21

地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』徒歩1分

阪急京都線『南方駅』徒歩3分、JR『新大阪駅』徒歩10分

※2単位申請中

働く人を取り巻く状況はめまぐるしく変わりつつあります。少子高齢化の影響による人手不足、グローバル化による大きな経済的変動、今までの働き方の見直しを迫られる働き方改革、AI・IoTなどの今までにない技術の進展等です。しかしながら働く人々にストレスを与える要因は増えこそすれ、減ることはないような状況です。仕事でストレスを感じる人が約6割おり、精神障がいや労災補償件数が増加の一途をたどり、新しく設けられたストレスチェック制度も事業場実施率は78%にとどまっている中で、私たち支援者の責務はますます大きくなっています。

そこで、今回は、メンタル不調者に寄り添う活動を長年にわたり、地道に続けてこられた尼子尚造先生にお願いし、支援者としては欠かせないポイントを教えていただき、理解を深めていきたいと考えています。

～講師からのメッセージ～

46年間主宰のメラン会(抑うつ友の会)を通じ学んだメンタル不調のキーワードをベースに、演題について皆様とともに考えてまいりたいと思います。

H18年に厚労省が示した「4つのケア」が現在のメンタルヘルス対策の根幹となっておりますので、私達支援者として押さえておくべきポイントについて提案させていただきたいと思います。この際、ご参加の皆様にも是非活用いただきたいツールについても披露させていただくとともに一緒に楽しんでいただければと思っております。

【講師プロフィール】

◆関東学院大学在学中に巡りあった恩師外岡豊彦先生の縁より関西カウンセリングセンターでカウンセリングを学ぶとともに関西研究会(日本産業カウンセラー協会の前身)に所属、メラン会(抑うつ友の会)関西会場主宰(46年活動継続中)、電話相談活動に参画、その後本業多忙での一時期の後、早期定年(63歳)しプロ活動を開始した。現在EAP社、自身ネットワークによるフリーランス。現、兵庫産業保健総合支援センター・メンタルヘルス対策促進員の任にある。